

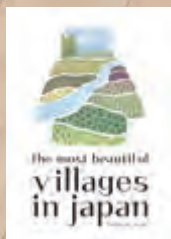
広報 ㊦
No.749
令和8年

いいたて 7

www.vill.iitate.fukushima.jp



飯舘村は立村 70 周年を迎えます



までいの里のこども園

ふるさととの森林の再生に力を尽くしています

今月の話題



立村70周年に寄せて、森林組合の足跡を振り返る佐藤組合長。関係者に感謝を伝え、森林再生にかける思いを語りました。



立村70周年記念 飯館村森林組合伐採祭 事業の安全を祈願しました

6月18日、飯館村森林組合で、『飯館村立村70周年記念 伐採祭並びに安全祈願祭』が行われました。「ふくしま森林再生事業」の今年度の取り組みが始まるのに合わせて行われたもので、組合員や職員、関係機関の代表などが出席しました。

同組合は、県の「ふくしま森林再生事業」を受託し、村内の森林で伐採や間伐を行っている。また、そこで産出する年間1万トン以上の木材を、バイオマス発電の燃料として「飯館みらい発電所」に納入しています。

伐採祭では会場に設置した木材を切り倒し、事業に携わる職員の安全を祈願しました。

同組合は今回の伐採祭を、飯館村立村70周年記念と位置付けることで、ふるさとへの思いを強く打ち出し、森林再生へのさらなる貢献を誓いました。佐藤長平組合長(宮内)は、「震災から15年、語り尽くせぬ思いがあります。山美わしく、水清らかなふるさと飯館のために、組合として精進していきます」とあいさつしました。

目次 CONTENTS

- 03 話題「立村70周年記念 飯館村森林組合伐採祭」
- 04 特集「ふるさとの古希を祝おう!飯館村立村70周年」
- 08 学びの広場「サツマイモの苗植え」ほか
- 12 お知らせ「国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料」
- 14 空から百景「緑の里山」
- 16 報告「6月議会定例会」
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からお知らせInformation / 6月のできごと
- 24 いいたて20行政区 vol.3伊丹沢行政区
- 25 いいたて今昔物語 / ふれ愛館だより
- 26 暮らしの耳より情報「野焼きに注意!」/いいたてPHOTOリレー
- 27 愛楽故郷味 / ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS ほか

湖面に映える花火の競演『はやま湖まつり2026』開催!

はやま湖で特別な花火体験を!

谷間に打ち上げの音を響かせる大輪の花火、そして湖面には色とりどりの水中花火。はやま湖の自然環境が演出する、格別の花火体験をお楽しみください。

また、この日は真野ダム内見学会(午後1時30分から30分おきに全4回※各回20人先着順)が実施される他、おいしい屋台が並んだ会場ではステージイベントも。暮れかかる午後6時40分からは地域の伝統芸能『大倉の神楽』が披露されます。どうぞ全てをお見逃しなく!



はやま湖まつり2025から

はやま湖まつり

7月25日(土) イベントは午後1時から
花火打上は午後7時30分から

はやま湖畔 / 真野ダム / 大倉体育館駐車場

※今号に同封のチラシで詳細をご確認ください。

問 はやま湖まつり実行委員会(産業振興課商工観光係内) ☎0244-42-1620

📷 までの里のこども園にて、「どうして70?」「飯館村がもう少しで70歳のお誕生日なんだよ」と言葉を交わしていた子ども達が、「おめでとう!」の写真撮影に参加してくれました。9月30日に立村70周年を迎え、10月4日には記念のイベント(P4参照)も開催されます。飯館村の誕生日、みんなで祝いましょうね。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613までお知らせください。

ふるさとの古希を祝おう！

感謝と喜びをともに



飯舘村は令和8年9月30日に70周年を迎えます

飯舘村立村70周年

古希（こき）は70歳の長寿のお祝い。中国の唐代の詩人・杜甫の「人生七十古来稀なり（70歳まで生きる人は稀である）」という詩に由来します。

村制施行70周年記念式典

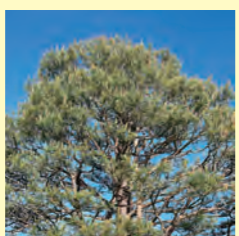
11月8日 日

来賓の皆様を迎えて節目の式典を行います。内容については次のページをご覧ください。

- 昭和31年（1956年）飯舘村・大舘村の2村が合併。飯舘村が誕生！
- 昭和41年（1966年）立村10周年。「村章」を制定。「村民歌」「村民音頭」を発表。
- 昭和51年（1976年）立村20周年。「村民憲章」「村の木・花・鳥」を制定。
- 昭和51年（1976年）昭和51年から54年にかけて「飯舘村史」第1巻～第3巻刊行。
- 平成18年（2006年）立村50周年。「いいたてむら立村50周年記念祭」をいいたて球場で開催。
- 平成23年（2011年）東日本大震災。原発事故の影響で計画的避難区域に指定され全村避難となる。
- 平成28年（2016年）役場機能が本庁に戻る。（一部の機能は先行で平成26年から本庁）
- 平成28年（2016年）立村60周年。「いいたて60祭」を新設の交流センター「ふれ愛館」で開催。
- 平成29年（2017年）19行政区で避難指示解除。「おかえりなさい式典」を開催。
- 令和8年（2026年）立村70周年。記念イベントや式典を催し、ふるさとの古希を皆で祝います！



飯舘村の村章（昭和41年制定）



村の木・あかまつ（昭和51年制定）



村の花・山百合（昭和51年制定）



村の鳥・うぐいす（昭和51年制定）

立村70周年記念イベント

みんなでお祝いしましょう！

70周年のあゆみに感謝と喜びをともにする集い

（タイトル仮）

10月4日 日 午前10時～午後2時30分
いいたて希望の里学園体育館+体育館周辺

第1部

敬老会式典 午前10時～午前10時45分

ふるさとを育み支えてくださった敬老者の皆さんをお迎えし感謝を伝えます。

ステージ発表 午前10時45分～午前11時15分

村の子ども達がステージに登場。感謝の式典に華を添えます。

〈昼食休憩〉

第2部

記念アトラクション 正午～午後2時

飯舘村の70年を振り返ります。また楽しいステージショーも開催します。記念のアトラクションを皆で楽しみ、節目の時を祝います。

※ 出店は午後2時30分までの予定です。

祝70周年

飲食コーナーや物販ブースも！
会場周辺に飲食コーナーや物販ブースが並び、記念イベントを盛り上げます。村の歩みを振り返る展示も行う予定です。

祝70周年

芸能ショーを企画しています
記念アトラクションの一つとして子どもから大人までが思いっきり楽しめる芸能ショーを企画しています。準備が整い次第お知らせします。

祝70周年

映像で70年を振り返ります
過去の貴重な映像・写真を盛り込んで、飯舘村の70年を振り返る記録映像を制作。記念イベントのアトラクションとして上映します。

祝70周年

70年間の10大ニュースを発表！
飯舘村の70年間のできごとから、村民の皆さんの投票で10大ニュースを決定し会場で発表します。今後募集する投票にぜひご協力を！

※ 6月24日時点の情報です。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。どうぞお楽しみに！



立村70周年記念イベント

※ 6月24日時点の情報です。今後開催日・場所・内容などが変更になる場合があります。

6月現在のラインアップです。今後のイベント情報にもご期待を！

村民の皆さんの主催によるステキな祝福イベントも！

イベント名	開催日・会場	主催	概要
立村70周年記念 ナイター 駅伝	8/1 土 いいたてスポーツ公園	飯舘村 飯舘村教育委員会 いいたてスポーツクラブ	夏の夕暮れに開会する恒例の駅伝大会。第5回の今大会を、立村70周年記念大会として開催します。記念グッズも検討中！
祝・飯舘村創立70周年 ジョイントコンサート	8/20 木 つどい茶屋JAZZ喫茶くま	つどい茶屋JAZZ喫茶くま	音楽活動を通して飯舘村を盛り上げている「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」が立村70周年を祝うジョイントコンサートを開催します。
立村70周年記念 わくわくどきどき合宿通学	9/27 日 ～10/1 木 農業研修館きらり	飯舘村教育委員会	いいたて希望の里学園の4～6年生（希望者）を対象に「農業研修館きらり」にて、今回は立村70周年の記念行事として実施します。
70周年のあゆみに感謝と喜びをともにする集い	10/4 日 いいたて希望の里学園体育館	飯舘村	第1部では飯舘村敬老会を開催し敬老者に感謝を伝えます。第2部では記念のアトラクションを皆で楽しみ、節目の時を祝います。
立村70周年記念 村民スポーツ大会	10/12 月・祝 いいたてパークゴルフ場	飯舘村教育委員会	行政区対抗でパークゴルフの競技大会を実施します。第3回の今大会を立村70周年記念大会として開催します！
立村70周年記念 いいたて秋まつり	10/25 日 交流センター「ふれ愛館」	飯舘村	子どもも大人も楽しいステージショー、村内事業者をはじめとするたくさんのお店でにぎわう秋のお祭りを、70周年記念バージョンで。
立村70周年記念 飯舘村文化展	10/22 木 ～28 水 交流センター「ふれ愛館」	いいたて村文化祭実行委員会 飯舘村教育委員会	子どもからお年寄りまで、個人・団体・サークルなど、多くの村民が力作を出品する感動いっぱいの作品展で、70周年を祝います。
立村70周年記念 いいたて村文化祭	10/25 日 交流センター「ふれ愛館」	いいたて村文化祭実行委員会 飯舘村教育委員会	文化展に合わせて村内団体や事業者が集う恒例のイベントで、文化展の表彰式も行われます。70周年記念の文化祭をどうぞお楽しみに！
村制施行70周年記念式典	11/8 日 検討中	飯舘村	式典の中で「飯舘村表彰式」を行う他、避難や復興に際しお世話になった方々を招いて感謝を伝え節目となるような式典を開催します。
立村70周年記念 いいたて冬まつり	11月下旬 <small>(予定)</small> いいたて村の道の駅までい館 <small>(予定)</small>	飯舘村商工会青年部	道の駅からふかや風の子広場に展開する美しいイルミネーションと冬の花火は飯舘の冬の風物詩。詳細は今後、実行委員会が検討します。
立村70周年記念 いいたて村芸能発表祭	2/14 日 交流センター「ふれ愛館」	いいたて村芸能発表祭実行委員会 飯舘村教育委員会	伝統芸能もダンスもバンド演奏も。幅広いジャンルの芸能が大集結するイベントです。70周年記念のステージにどうぞご参加ください！

恒例のイベントを70周年スペシャルバージョンで

記念イベントを開催するには

村の後援のもと「70周年記念イベント」に加わっていただきます。手続きに一定の時間を要しますので、期間に余裕を持って申請してください。ご参加お待ちしております！

祝70周年

森林組合は70周年伐採式を開催

飯舘村森林組合は「ふくしま森林再生事業」にかかる伐採祭を立村70周年記念行事として開催しました。詳しくは今月号のP2で。

祝70周年

道の駅の第1弾開催を皮切りに

道の駅までい館では立村70周年記念イベント「里帰りまでい牛精肉販売会」をすでに3月に開催しています。記念行事第1号になりました。

祝70周年

赤パンツでお祝い!?

道の駅までい館の立村70周年記念グッズ第1弾は「巣鴨マルジ」(東京都)とコラボの赤パンツ！健康長寿のアイテムとして7月11日に販売開始！



非公認キャラクターの「までこ」がキュート！

こども園NEWS!



避難訓練がんばりました

6月18日には、避難訓練を実施。子ども達はそれぞれの先生の指示に従い、年齢に応じた避難方法で「わんぱくほーる」に集まりました。また集合後、「避難の際に気を付けること」について確認をする場面でも、先生の話にしっかりと耳を傾けました。園では毎月の訓練を通して、子ども達が非常時にも慌てずに行動ができるよう備えています。

能の公演 芸術鑑賞教室

さらに、能楽と狂言の発声方法や立ち姿、柿を食べるしぐさなどを体験するワークショップも行われ、日本の伝統芸能に親しみ、理解を深めました。

実際に能楽の「屋島」「狸々」、狂言の「柿山伏」を鑑賞する場面では、子ども達が、演者の華麗な所作に見入り、ユニークな表現に笑顔を見せていました。

神奈川県を拠点に、能楽と狂言の普及・継承に取り組む「鎌倉能舞台」の皆さんを講師に迎え、能楽と狂言の歴史、特徴的な動き、表現の違いなどについて学びました。また、

6月15日、いいたて希望の里学園で、「芸術鑑賞教室」を開催しました。



学園NEWS!



こども園と学園の6月のできごとをお伝えします
までいの里のこども園、いいたて希望の里学園の取り組みやイベント、学びの様子から、その一部をお伝えします。

こども園NEWS!



サツマイモの苗を植えたよ!



6月10日、までいの里のこども園の園児が、園の畑でサツマイモの苗植えを行いました。JAふくしま未来・飯館営農センターの川井智洋センター長（二枚橋・須萱）から、苗の植え方や収穫の時期について教わりながら、晴れ渡る青空の下、にぎやかに作業を進めました。

園児達は、カエルやアリなどの生き物との出会いも楽しみながら、手をシヨベルカーのように動かして一生懸命土を掘り、「大きなあれ」と願いを込めて苗を植え、水やりを行いました。



3・4歳児の親子遠足を行いました

たくさん遊んだ後はみんなでお弁当。親子が触れ合いを深めて、笑顔あふれる一日を過ごしていました。

6月19日には、3・4歳児の親子遠足を行いました。通園バスで向かったのは、伊達市の屋内遊び場「パレオパークやながわ」です。広々とした遊び場には、さまざまな遊具や砂場などがあり、親子が一緒に体を動かし、楽しい時間を過ごしました。中でも、空気で膨らんだふわふわのエアスライダーは大人気で、友達と一緒に飛んだり跳ねたり、元気いっぱい遊びました。

こども園NEWS!



学園NEWS!

木材チップやバーク(樹皮)を燃料に発電しています。

● 後期課程 ●
飯館みらい発電所(藤平)



「いいたて学」飯館村を知るバスツアー

交流を通じて海外の方も訪れてくれますよ。

氣まぐれ茶屋ちえこ(佐須)



特別授業「絵を描くワークショップ」

こども園NEWS!

学園NEWS!



絵本作家のいせひでこ先生、ノンフィクション作家の柳田邦男先生、写真家の石井麻木さんによる「絵を描くワークショップ」が、6月9日から11日にかけて行われました。

こども園では絵本の読み聞かせの後、園児が園庭で捕まえたたり、園内で飼育したりしている生き物を観察。それらの生き物を、大きな画用紙に、クレヨンで思い思いにスケッチしました。子どもならではの視点でさまざまな生き物が色鮮やかに描かれ、先生方が「自然の中にある生き物の様子がよく描けているね」と言葉をかけていました。

一方、学園でのワークショップのテーマは、「自分たちが想像する奇想天外な動物」。前期課程の児童が、豊かな発想で、個性あふれる動物達を次々に描き出しました。

「いいたて学」は、地域に根差した実践的な活動を通してふるさとに学び、情操や自立心を育み、生きる力を養う、いいたて希望の里学園独自の教科です。1年生から9年生までが体系的に学びを深め、さまざまな角度から探究的な活動に取り組んでいます。

その一環で、後期課程が6月10日に3つのコースで、前期課程が同17日に4つのコースで、村内をめぐるバスツアーに出かけました。

子ども達は各コースに分かれて、飯館村の自然、歴史、産業、観光などに触れるさまざまな場所を訪問。質問や撮影をしながら、村で働く人々や、地域に関わる人々の思いを知ろうと熱心に活動していました。



菊池製作所(草野)

さまざまな素材を使い「ものづくり」をしています。



大人も子どもも音楽で仲よくなれたらいいよね。

● 前期課程 ●
つとて茶屋 JAZZ 喫茶くま(上飯樋)



いいたて希望の里学園



令和8年度国民健康保険税等を改正(引き下げ)しました

6月定例議会で国民健康保険税(国保税)の一部改正が可決されました。また、今年度より子ども・子育て支援金が導入されました。これは、児童手当の拡充や妊婦のための支援給付などの子ども・子育ての支援制度に充てるもので、全ての世代の方に支援金を負担いただくものです。

国保税は相互扶助の精神のもとに私たちの健康の保持・増進を確保する重要な制度です。病気やケガをした時に医療費の負担が軽減され、安心して医療を受けられるよう、加入者、国や県、村が負担をして運営しています。

国民健康保険税 税率等改正内容

区分	課税対象	医療分			支援分			介護分			子ども・子育て支援分		
		改正前	改正後	増減	改正前	改正後	増減	改正前	改正後	増減	改正前	改正後	増減
		R7	R8		R7	R8		R7	R8		R7	R8	
所得割	前年中の総所得金額から43万円を差し引いた額	7.90%	7.34%	↓	2.90%	2.77%	↓	2.40%	2.36%	↓	—	0.30%	↑
均等割	被保険者1人につき	28,500円	28,500円	→	10,000円	10,000円	→	10,500円	10,500円	→	—	1,300円	↑
平等割	1世帯につき(特定世帯以外)	23,000円	23,000円	→	8,000円	8,000円	→	6,000円	6,000円	→	—	800円	↑
	1世帯につき(特定世帯)	11,500円	11,500円	→	4,000円	4,000円	→				—	400円	↑
	1世帯につき(特定継続世帯)	17,250円	17,250円	→	6,000円	6,000円	→				—	600円	↑
課税限度額		660,000円	670,000円	↑	260,000円	260,000円	→	170,000円	170,000円	→	—	30,000円	↑

※**特定世帯**:これまで国民健康保険被保険者であったものが、後期高齢者医療保険に移行したことにより、同一世帯の他の国民健康保険被保険者が一人だけとなる世帯で、かつ、国民健康保険の資格を喪失した日の属する月(以下「特定月」)以後5年を経過する月までの間にある世帯。

※**特定継続世帯**:これまで国民健康保険被保険者であったものが、後期高齢者医療保険に移行したことにより、同一世帯の他の国民健康保険被保険者が一人だけとなる世帯で、かつ、特定月以後5年を経過する月の翌月から特定月以後8年を経過する月までの間にある世帯。

■ ご存じですか?国保税の軽減制度

国保税には、前年の所得が一定基準以下の場合、均等割額及び平等割額の7割、5割、2割が軽減される制度があります。軽減の内容は次のとおりです。

令和8年度国民健康保険税 軽減額

世帯種別	均等割軽減額 (1人あたりの軽減額)				平等割軽減額 (1世帯あたりの軽減額)				
	医療分	支援分	介護分	子ども・子育て支援分	医療分	支援分	介護分	子ども・子育て支援分	
7割軽減世帯 合計所得額<43万円+10万円 (給与取得者の人数-1)>	特定世帯以外				16,100円	5,600円		560円	
	特定世帯	19,950円	7,000円	7,350円	910円	8,050円	2,800円	4,200円	280円
	特定継続世帯					12,075円	4,200円		420円
5割軽減世帯 合計所得額<43万円+31万円 (給与取得者の人数-1)>	特定世帯以外					11,500円	4,000円	400円	
	特定世帯	14,250円	5,000円	5,250円	650円	5,750円	2,000円	3,000円	200円
	特定継続世帯					8,625円	3,000円		300円
2割軽減世帯 合計所得額<43万円+57万円× (給与取得者の人数-1)>	特定世帯以外					4,600円	1,600円	160円	
	特定世帯	5,700円	2,000円	2,100円	260円	2,300円	800円	1,200円	80円
	特定継続世帯					3,450円	1,200円		120円

問 住民課税務係 ☎0244-42-1615

今年度から課税を再開します

国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料

東日本大震災に伴う原発事故の被災世帯は、震災以降、国の特例措置により国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の減免が続いてきましたが、平成29年に避難指示が解除された地域においては、本年度から本税(料)の1/2の課税が再開します。

特例措置に関する国の方針 — 国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険 —

- 被保険者間の公平性を確保するとともに、十分な経過措置を講じる観点から、避難指示解除後10年程度で特例措置を終了する。
- 急激な負担増にならないよう、複数年かけて段階的に見直す。
①保険税(料)1/2減免⇒②保険税(料)特例終了⇒③窓口負担(利用者負担)特例終了
※被災世帯でも、上位所得層は減免対象外とする。

■ 今後の予定 (上位所得層と帰還困難区域を除く)

19の行政区 平成29年 避難指示解除		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	保険税(料)	減免	1/2課税	通常課税	通常課税
窓口負担	免除	免除	免除	通常負担	

長泥行政区 令和5年 避難指示解除		～令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
	保険税(料)	減免	1/2課税	通常課税	通常課税
窓口負担	免除	免除	免除	通常負担	

■ 納付方法について

飯館村では税金や料金のお支払いに便利で確実な**口座振替**を推進しています。この機会にぜひ、便利な口座振替をご利用ください。金融機関での手続きが必要となりますので、税務係までお問い合わせください。

また、金融機関への払込みのほかに、コンビニエンスストア、役場窓口でのお支払い、QRコードを利用したスマートフォンアプリでのお支払い方法があります。

問 住民課税務係 ☎0244-42-1615

キャッシュレス決済はこちらのサイトからも利用できます。



地方税共同機構/
地方税お支払サイト



稲や牧草を栽培する飯槌地区の農地。きれいに並んだ小さな苗が、水田にリズムカルな模様を描いています。明るい日差しを喜ぶように、何種類もの小鳥のさえずりが楽しげに響いていて、丘の上の大きな牛舎からはのんびりした牛の鳴き声が聞こえてきます。農家の皆さんのまていな仕事がつくり出す牧歌的な風景が、清々しく広がる初夏の飯槌村です。



令和8年6月議会定例会は、6月12日から19日までの日程で開催されました。一般質問は16日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。

- 今議会で可決された議案など
- 令和8年度 一般会計補正予算
- 令和8年度 国民健康保険特別会計補正予算
- 令和8年度 介護保険特別会計補正予算
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 介護福祉条例の一部を改正する条例
- 東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 村道舗装機能回復工事請負契約について
- 令和7年度一般会計 繰越明許費繰越計算書

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

7次総計画について

第7次総合振興計画の着実な推進のため、村行政区長会をはじめとする村内関係機関と住民等が協調した、効率的、効果的な村づくりを推進することを目的に、4月23日に飯館村総合振興計画推進協議会を設立し、5月末までに2回開催しております。

また、総合振興計画の推進の観点から、これまでの企業や大学、関係機関との地域連携について共有する中、新たな地域連携についても協議した結果、去る5月12日に、村と東急不動産、飯館村総合振興計画推進協議会の3者による地域連携協定を締結しております。次回以降においては、復興関係事業の進捗状況確認及び今後の取り組みについて協議いただくこととしております。

70周年記念事業について

令和8年9月30日をもって、飯館村は村制施行70周年を迎えます。村政伸展を願う多くの先人の取り組みが、今日の飯館村を形

作ってきた歩みを振り返るとともに、この節目を迎えたことを記念し、各課において記念事業が組まれています。今秋には、敬老会をこの70周年記念事業と位置づけ、楽しい催しとなるようイベントとしての検討を進めております。また、例年秋に行っております「飯館村表彰式」は、表彰規程に基づく表彰に加え、震災による避難や復興に際してお世話になった方々を招いて感謝状を贈るなど、節目となるような式典を想定して検討を始めております。

この他、各課において70周年記念を冠したイベントや行事を予定しており、この記念すべき年を、「感謝と喜びをともにする1年」と位置づけて、村を挙げて祝いたいと考えております。

住民懇談会について

住民懇談会及び第7次総合振興計画説明会を、4月11日及び12日に、交流センター「ふれあい館」、原町生涯学習センター（南相馬市）、及び福島県青少年会館（福島市）の3会場で開催し、延べ22名の方に参加いただきました。参加者からは、人口増加対策、働く場

建設関係

福島再生賃貸住宅「大谷地住宅」については10戸が完成し、4月3日に竣工式を執り行いました。現在、帰還者及び移住者の方が4戸入居しております。土木係関係では、長泥地区における帰還再生生活道路整備事業いわゆる「昇口舗装」を、今年度は2か所予定しており、測量設計及び舗装工事を進めてまいります。

生涯学習関係

5月23日から25日にかけて開催された相馬野馬追祭に、今年も村から4騎が出場しました。また、「飯館村相馬流山踊保存会」の取り組みが、公益財団法人東日本鉄道文化財団「地方文化事業支援」として採択され、去る5月15日に交流センターにて、支援承認書の贈呈式が行われました。今回の支援事業により、活動助成金として46万8000円の交付を受けることとなり、保存会では陣笠の購入と、稽古の講師謝金などに活用することとしています。

の確保、支障木対策、伐採林の処理、獣害対策、防災体制、子育て、教育環境、医療福祉の充実などの要望や、支援事業等の周知方法についての意見のほか、県の道路改良計画についての質問など、多岐にわたってお伺いしたところです。今後、村で行う事項、国や県に要望する事項などを整理しながら、それぞれ対応してまいります。

帰還困難区域

長泥地区の避難指示未解除区域の避難指示解除に向けた取り組みとして、4月26日に帰還意向調査説明会を行いました。

当日出席された方には、会場で調査票を配付した他、欠席された方には後日郵送しており、7月末までにはご回答いただくこととしております。

村民の帰還状況

6月1日現在の村への帰還者は630世帯、1166人で帰還率は約31.6%となっています。これに転入者287人と「いいたてホーム」の入所者等を合わせ、村内の居住者は819世帯、1510人となっています。

地域サロン等について

帰村した村民の健康維持や増進のために開設しているサポートセンター「つながつべ」は、利用登録者が105人となっており、令和7年度のサロンは延べ3179名が利用しました。

併せて、高齢者の「通いの場」として、村内9地区・村外1か所として「地域サロン」が運営されており、サロンの会員数は村内257人、村外30人、計287人で、地区集会所等で介護予防体操や各種教室などを行いながら、交流を図っていただいております。

水稲の作付けについて

水稲は昨年度実績で約300ヘクタールの作付けでしたが、今年度は5月末時点のとりまとめで19地区45経営体で約357ヘクタールとなり、約1.2倍に拡

大しています。

長泥地区環境再生事業

第2・第3・第4工区の農地において、村と県が実施主体となり、地元の方のご協力を得て、出荷制限解除のための実証栽培等を実施する予定です。

品目は、水稲と指定野菜5品目を予定しており、各農産物の安全性を確認した上での国・県との協議により、令和9年度からは市場出荷が可能となるよう手続きを進めてまいります。

商工観光関係について

「飯館村生活応援商品券」(プレミアム付「いいたてほのぼの商品券」)は、本年5月25日現在、1万4800冊(予定販売数の45.4%)を購入いただいているところです。利用期間を本年9月までとしており、引き続き事業を進めてまいります。

また、昨年度に引き続き、福島県の事業再開・帰還促進事業を活用し、7月25日に、大倉地区で「はやま湖まつり」を開催する他、「いいたて秋まつり」「いいたて冬まつり」などを実施予定です。

松原光年さん・菅野正美さん 民生委員・児童委員表彰



左から菅野さん、松原さん、杉岡村長。民生委員は厚生労働大臣の委嘱を受けて活動し児童委員を兼務します。

民生委員・児童委員として、地域福祉の向上に尽力した長年の功績が認められ、松原光年さん(小宮)、菅野正美さん(佐須)が、厚生労働大臣表彰を受けました。2人は6月2日に村役場で、村への報告を行いました。

報告ではそれぞれが、震災当時の民生委員・児童委員活動を振り返り、「多くの皆さんから応援をいただき、少しでも恩返しをしたいという思いで活動してきました」などと語り、長きにわたる活動への思いをかみ締めていました。

南相馬地区防犯指導隊 委嘱状交付式が行われました



式の中で、飯館支部の隊員を代表し、南相馬警察署から委嘱状の交付を受ける渡邊副隊長。

5月26日、村役場で、南相馬地区防犯協会連合会及び南相馬警察署による『令和8年度南相馬地区防犯指導隊委嘱状交付式』が行われ、20行政区から選出された、飯館支部・20人の隊員に委嘱状が交付されました。また、渡邊富士男さん(飯樋町)が南相馬地区防犯指導隊副隊長に任命されました。

防犯指導隊は、犯罪を未然に防ぐための広報活動など、地域住民の安全確保を目的とした活動を行っています。この日は、「青色回転灯によるパトロール活動」の講習、飯館支部の総会も行われました。

ふくしまDC 歓迎イベント! イタネちゃんも相馬駅に出動



車窓の風景と共に絶品グルメを味わう人気企画。イタネちゃんとの出会いもぜひ旅の思い出に!



ふくしまデスティネーションキャンペーンの一環で6月6日に運行された「ふくしま まんぷく列車」の乗客を、各駅でゆるキャラ達が大歓迎。イタネちゃんも、相馬駅のホームに駆け付けました。この列車は、「なみえ焼きそば」「ほっきめし」など県内各地のご当地グルメが味わえる特別列車。ゆるキャラ達は全身で、「福島に来てくれてありがとう!」の気持ちを伝えていました。

情景を旋律で描く 守時タツミさんの演奏会



5月31日、交流センター「ふれ愛館」で、自主文化事業『守時タツミ～景色の見える音楽会～』を開催しました。村で守時さんの演奏会が開かれるのは8回目、今回も多くの方が足を運びました。コンサートでは、震災の年の飯館の夏を描いた「ひぐらし」、能登の情景を描いた「NOTO BLUE」などのピアノ曲が、自然の音や風景映像と重ねて演奏され、来場者が耳を澄まして聴き入りました。開催後のアンケートには「こんなに温かなコンサートは他にありません」「演奏者に近く会場も素晴らしい」といった感想が寄せられました。



旋律が美しいピアノ曲の演奏の他、守時さんがプロデュースする「音えほん」の朗読も行われました。

ふくしまDC inふかや風の子広場 謎解きイベントを開催!



村内外からたくさんの方が参加し謎解きイベントを楽しみました。ぜひまた遊びに来てくださいね!

6月7日、ふかや風の子広場にて、ふくしまデスティネーションキャンペーンに合わせた謎解きイベントを開催しました。村内をはじめ県内の観光スポットを盛り込んだ謎解き問題は、公園の遊具に掲示。参加者が場内を巡って遊びながら謎解きを楽しむ企画です。先着100人の正解者にはお菓子などをプレゼント。さらに、抽選の当選者には、ジャパンフードセレクション受賞の商品などを贈りました。約200人の家族連れが参加し、緑が美しい公園で問題を探し歩いたり、協力して謎解きに挑戦したりして楽しみました。

高木久子さん・山田郁子さん 人権擁護委員活動で表彰



右から、山田さん、高木さん、杉岡村長。法務大臣から委嘱を受け、相談や啓発活動に取り組んでいます。

村で人権擁護委員を務める高木久子さん(大倉)が全国人権擁護委員連合会から、同じく山田郁子さん(伊丹沢)が福島県人権擁護委員連合会から表彰を受け、6月1日に村役場で、村への報告を行いました。人権擁護活動や人権思想の普及に対する長年の貢献が認められての表彰です。報告後の懇談では、人権について日頃から考え、話し合うことの大切さや、そのための環境づくりについて、出席者が意見を交わしました。世代間交流を伴う取り組みの提案などもあり、活発な議論が続きました。

モリアオガエルに会いに行こう!『ながどろ生き物みっけ隊』の自然観察会

6月20日、環境再生プラザ(環境省)が、長泥地区で、『ながどろ生き物みっけ隊』の自然観察会を開催し、県内全域から31人が参加しました。

長泥地区で自然環境の調査をしている株式会社大林組技術研究所の寺井学さん、国立環境研究所の吉岡明良さんを講師に、モリアオガエルをはじめとした水辺の生き物を観察しました。現地では、モリアオガエルにそっと触れて間近で観察した他、貴重な産卵シーンを実際に見ることもできました。

参加者からは、「こんな貴重な経験はなかなかできない」「かわいらしい姿を観察できてうれしい」といった声が聞かれました。村の豊かな自然に触れ、生き物の生態について学ぶ貴重な機会となりました。



深谷行政区が交流会を開催

5月30日、深谷行政区が交流会を開催し、いいたてパークゴルフ場でパークゴルフ大会を、深谷集会所前の広場でバーベキューの集いを催しました。昨年に続く2度目の開催で、村外で暮らす方も多数参加し約50人が集まりました。齋藤照吉区長は盛会を喜び、



「若い方にもできるだけ参加をしてもらい、さらに交流を深めたい」と話していました。



留学生が来村し田植えを体験

アメリカ・ケネソー州立大学の学生18人が、5月27日、菅野宗夫さん(佐須)のほ場で、水稻の苗の手植えを体験しました。この農業体験研修プログラムは今年で3年目。日本の農業に触れて学ぶ貴重な機会として高い評価を得ています。参加した学生からは「ユニークで特別な体験」などの感想が聞かれ、菅野さんは「自然の恵みを得ることの喜びを体験し、村での学びを世界へ発信してほしい」と期待を寄せていました。



昨年度のレポート(翻訳版)はこちらから↑



家族に笑顔『神八わいわい食堂』

6月20日、食堂「芳頼 神八」(草野)で、飯館村で暮らす子育て世帯を対象とした食事イベント『神八わいわい食堂』が開催されました。

2組の家族が参加して、いなり寿司やサンドイッチ、スパゲッティなどの朝食を楽しみました。会話が弾んで家族同士の交流も深まり、イベント名の通り、「わいわい」とにぎやかな、笑顔あふれるひとときとなりました。

『神八わいわい食堂』は、今後も毎月第3土曜日に開催されます。



いいたて球場で『モビリティマッチ』

6月10日、いいたて球場で、社会人野球チームによる『モビリティマッチ2026』が開催され、トヨタ自動車東日本(岩手県)と茨城トヨペット(茨城県)が対戦しました。

この試合は、スポーツを通じて地域に元気を届けると共に、グループ内のつながりを深める目的で行われたものです。

初の飯館村開催となった今回の試合。鋭いホームランや好プレーが続き、白熱した一戦となりました。

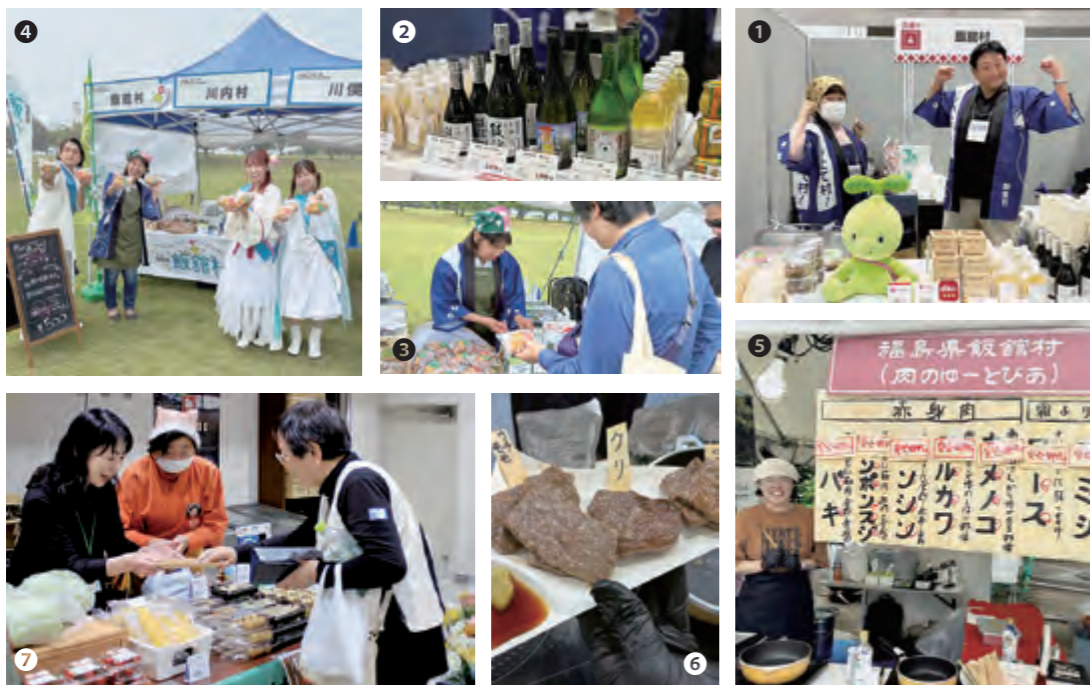


くまカフェで『いいたてロックフェス』

6月6日、「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」(上飯樋)で、同店主催の音楽イベント『いいたてロックフェス』が開催されました。店主の佐藤祐喜さん、所属のShimvaこと小川奈々恵さんは、パワフルかつユーモアあふれるステージを披露。東京を中心に活動するギタリスト・生島佳明さんによる弾き語りライブも行われました。また来場者も、聴き入るばかりでなく自らステージに参加するなどして、音楽を通じた交流を思い思いに楽しんでいました。



初夏のイベント盛りだくさん！ 事業者の皆さんと一緒に、飯館村の魅力を発信しました。



6月の村の動きと主なできごと

- 1日・特設人権相談日(交流センター「ふれ愛館」)
- ・ 定例選挙管理委員会(村役場)
- 2日・民生委員・児童委員表彰伝達式及び委嘱状交付式(村役場)
- 4日・5日・福島県中学校体育大会相双地区予選大会(南相馬市・あつまるアリーナ)
- 5日・国民健康保険事業運営に関する協議会(村役場)
- 6日・ふくしまDCゆるキャラお出迎え(相馬市・相馬駅)
 - ・ ふくしま酒・味噌・醤油まつり(郡山市・ビッグパレットふくしま)
- 7日・ふくしまDC「ふかや風の子広場」なぞときイベント(ふかや風の子広場)
- 8日・10日・ゆずカフェ(いちばん館)
- 10日・国道399号あぶくま口マンチック街道沿線自治体連絡協議会(宿泊体験館きこり)
- 12日・ほっと相談会(飯館村子育て支援センター)
- 12日・14日・「MEET MEAT FES」仙台出展(宮城県仙台市・勾当台公園)
- 12日・19日・6月議会定例会(議場)
- 13日・「ツール・ド・ふくしま2026」あぶくま山岳グルメライド40(村内各所)
- 14日・「ツール・ド・ふくしま2026」出展(檜葉町・天神岬スポーツ公園)
- 17日・23日※20日除く・総合健診(いちばん館)
- 18日・飯館村立村70周年記念 伐採祭並びに安全祈願祭(飯館村森林組合)
- 19日・農業委員会定例総会(村役場)
- 24日・いいたて村文化祭第1回実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 24日・26日・「日本で最も美しい村」連合 定期総会(香川県・まんのう町)
- 25日・文化財保護審議会 視察研修(伊達市・保原歴史文化館他)
- 26日・ほっと相談会(飯館村子育て支援センター)
 - ・ 定例教育委員会(ブレッジハウス)
- 26日・28日・杜の都のワイン祭り「バル仙台2026」出展(宮城県仙台市・勾当台公園)
- 27日・昆虫の聖地協議会 総会(葛尾村)

サマージャンボ宝くじ
道の駅が特設売り場を開設

「いいたて村の道の駅までい館」にサマージャンボ宝くじの特設売り場が開設されています。まだい館に特設売り場が開設されるのは初めてで、サマージャンボ宝くじのみを取り扱う期間限定の売り場です。

宝くじ特設売り場

期間 6月30日より(開設中) 7月31日まで
場所 道の駅までい館 会計レジ

「日本で最も美しい村」連合
パスポートを道の駅で取扱

いいたて村の道の駅までい館が、「日本で最も美しい村」連合のサービスステーションとなりました。
同時に、同連合のパスポート(1冊1000円/有効期間1



年間)の取り扱いがスタートします。
同連合の加盟町村・地域を訪れてそれぞれのスタンプを集めたり、協賛施設でさまざまなサービスを受けたりできるパスポートです。いいたて村の道の駅までい館では、このパスポートを提示すると、1000円以上の買い物代から1000円引きのサービスが受けられます。
なお、パスポート事業による収益の一部は、「日本で最も美しい村」連合の環境保全活動等に活用されています。

問 いいたて村の道の駅までい館
☎0244(42)1080

問 村づくり推進課企画定住係
☎0244(42)1622

ひみつ基地どきどきの
利用時間を変更しました

ふかや風の子広場の屋内遊び場「ひみつ基地どきどき」は、子ども達がより長い時間、集中して遊べるよう、7月から開館時間を変更しました。
「ひみつ基地どきどき」は、木製の大型遊具や知育玩具、遊びを豊かに広げるおもちゃや絵本を取りそろえ、親子で楽しめるイベントも開催しています。ぜひ皆さんで遊びに来てください。

新しい利用時間はこちら

第1部 午前10時から正午まで
第2部 午後1時30分から午後4時まで

休館日は変更ありません

毎週水曜日、年末年始
※広場の屋外公園は年中無休で終日開放しています。

問 ひみつ基地どきどき
☎0244(26)7340

問 産業振興課商工観光係
☎0244(42)1620

道の駅のイベント広場で
「まていなマルシェ」を開催

いいたて村の道の駅までい館のイベント広場で、生産者の会主催の『まていなマルシェ』が開催されます。農産物やハンドメイド雑貨、飲食のブースを巡ってお楽しみください。

日時

7月11日(土) 午前10時～午後3時

問 いいたて村の道の駅までい館
☎0244(42)1080

村内で農業を営む方に
たい肥の導入を支援します

飯館村営農再開支援事業推進協議会では、村内で農業を営む方にたい肥(上限1トン/反)の導入を支援しています。
導入を希望する方は、農政係までお申し込みください。
原則これまでたい肥導入事業を行っていない農地が対象となりますのでご注意ください。

問 産業振興課農政係
☎0244(42)1625

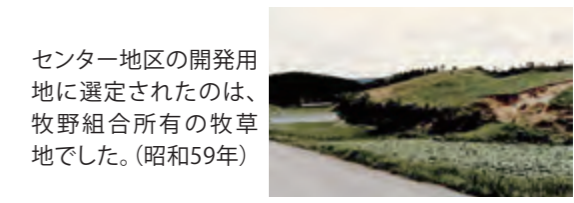
飯館村を形つくる個性豊かな20行政区を連載で紹介します

3区 伊丹沢行政区 vol.3

飯館村の中央部に位置する伊丹沢行政区。村役場、学校施設、スポーツ公園、クリニックなど、村民の生活を支える施設が集中する「センター地区」を擁する地域です。

昭和期は米作りが盛んで、タバコの生産や養蚕・畜産なども行われていました。また、昭和46年には、「生活改善モデル地区」に指定され、それを契機に「伊丹沢農事研究会」が発足。研究会は、土壌調査に基づく土づくりや栽培技術の研究、害虫防除などに、長期にわたり取り組みました。一方、老人会や若妻会などの地域活動も盛んに行われていました。

昭和59年には、第3次総合振興計画を策定中の村が、「センター地区整備懇談会」を立ち上げ、統合中学校（後の飯館中学校）やスポーツ施設の整備



センター地区の開発用地上に選定されたのは、牧野組合所有の牧草地でした。(昭和59年)



作物の品質向上や、土づくりなどに取り組んだ「伊丹沢農事研究会」。(昭和57年当時)

について検討を開始。その後、分散していた公共施設を集中して整備する「センター地区構想」が取りまとめられ、平成期にかけ、さまざまな施設が区内に整備されました。

震災による全村避難を経て、区は現在、地域みがきあげ計画なども活用して、花壇の植栽や地域美化の活動を続けています。令和5年から6年にかけては、鳥獣被害対策のモデル地区として、実証的な活動にも取り組みました。



震災後にスポーツ公園や学校施設が再整備されました。(平成30年)



「飯館復興三千本の桜」は区の笹ノ沢地区にあります。(令和8年)

伊丹沢行政区(3区)
区民数304人(令和8年6月1日現在/住基人口)

全村避難の時は心底落胆しました。しかしそこから15年が経過した現在、集落営農組合での作業には、若い人も参加をしてくれて、畦畔の草刈りなど担い手の支援も行っています。また、チェーンソー部隊ができて、支障木が出た時などに出動します。地区の高齢化は進んでいますが、その中でも、若い人とコミュニケーションを取りながら、区の活動を行っていきたいです。県道から役場に向かう道沿いに整備している自慢の花壇は今年もきれいにできました。パークゴルフの練習も毎月行っていて、秋には区長杯を開催。村民スポーツ大会にも出場します。



花井敬三区長



平成

新庁舎の完成は平成5年。庁舎左手に、同7年開店の「ほんの森いいたて」も写る航空写真。



令和

現在も大切に使われている庁舎。令和5年に正面玄関入り口のバリアフリー工事を行いました。

飯館村役場 庁舎の今と昔

さまざまな場所や暮らしの変化を見てみよう。

いいたて 今昔物語

70周年 村制施行



昭和

昭和35年、草野地区に完成した旧庁舎。飯樋地区には支所が置かれました。



不詳

中央近くの赤い屋根が旧庁舎。現在は飯館村商工会商工会館が建つ場所です。

昭和31年に飯曾村・大館村が合併して誕生した飯館村。昭和35年に完成した役場庁舎は、現在の庁舎に移転するまで使用されました(現庁舎での業務開始は平成6年1月)。現庁舎の建設は、センター地区の開発と同時に進められました。鉄筋コンクリート造の2階建てで、随所に村特産のみかげ石が使用されています。前庭も公園のような設えで、数年をかけて植栽や石彫が配置されました。そして平成23年3月の東日本大震災の折には、刻々と変わる状況の中、被災・避難の手続きや対応の会議などで、大勢の村民が庁舎に集まりました。同4月には全村が計画的避難区域に指定され、村民の避難を進めた後に、役場機能も移転。同6月、福島市に飯野出張所(後に飯野支所)を開設し、村民との懇談や、復興計画の策定などを続けました。平成26年4月には役場機能の一部を本庁に戻し、平成28年7月に帰庁。今年の7月は、帰庁から丸10年の節目となります。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

おすすめ図書を紹介し、本を読んだことがない32歳からはじめて本を読む



かまど 著
みくのしん 著
大和書房

32歳までまともな本を読んだことがない男性が、読書家の友人と一緒に『走れメロス』などの名作を一行ずつ音読していく読書ドキュメンタリー。文字を追うたびに一喜一憂し、物語の世界へ全力で飛び込んでいく姿は、忘れていた「本を読む純粹な楽しさ」を思い出させてくれます。

イン・ザ・メガチャーチ



朝井リョウ 著
日本経済新聞出版

朝井リョウ氏の2026年本屋大賞受賞作『イン・ザ・メガチャーチ』が話題です。アイドル応援文化の光と影を描き、SNS社会の危うさを鋭く突いた本作。「自分の頭で考えること」の重要性を問いかける、現代人必読の傑作です。

話題の本も置いています 問 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072

「おかげさま」で「ありがたし」
村を支え、守り、輝かせる村民の力



今年も早いもので、6か月が過ぎようとしています。梅雨の訪れが、村の大地に恵みの湿潤をもたらす水無月。飯館村自慢の農産物や村産品を広めるべく、各地のイベントへ出店させていただきました。郡山ビッグパレットでの「ふくしまの酒・味噌・醤油まつり」では村のお味噌や甘酒などを紹介。仙台での「MEET MEAT FES」では村産黒毛和牛の食べ比べや、新玉ねぎを使ったメンチカツをはじめ、焼き菓子、ベーグル、ジャンプフードセレクションのグランプリ商品、季節のお花が並び、多くの方にお楽しみいただきました。浄土平レストハウスでの「飯館村フェア」や毎年出店している仙台での「BAR仙台2026」など、多方面に村産品の魅力を発信した月間となりました。

私の個人インスタグラム等のSNSでも、ご紹介しておりますので、お手隙の際に、どうぞご覧いただければ幸いです。

年間を通して、飯館村の魅力を発信できるのも、村の生産者さんの汗とご努力の積み重ねあつてこそです。いつもありがとうございます。

また、長年民生委員・児童委員を務めてくださった皆様、多年に亘り人権擁護委員として活躍くださった皆様の表彰報告も心より嬉しく、これまでの地域に対する積年のご尽力にただただ感謝申し上げます。こうして村はいつの時も、村民の皆様の手で守られ、支えられてまいりました。

村民の方から「大変なことは今もあるけれども、自分達がなんとか暮らし続けていられるのは、ご先祖様が一生懸命に家族や土地を愛し、守り継いできてくださったからに他ならないよね」というお話を聞きする機会がありました。

田んぼや畑を愛おしそうな眼差しで見つめながらのお言葉に、あらためて「おかげさま」「ありがたし」の想いを強くいたしました。

この大切な「飯館村」という私たちの「ふるさと」を次世代へと繋ぎたい。繋いでいくため、皆様とともにこの村にあふれる誇りと魅力をさらに深めてまいりたいと存じます。

今年も早いもので、6か月が過ぎようとしています。梅雨の訪れが、村の大地に恵みの湿潤をもたらす水無月。飯館村自慢の農産物や村産品を広めるべく、各地のイベントへ出店させていただきました。郡山ビッグパレットでの「ふくしまの酒・味噌・醤油まつり」では村のお味噌や甘酒などを紹介。仙台での「MEET MEAT FES」では村産黒毛和牛の食べ比べや、新玉ねぎを使ったメンチカツをはじめ、焼き菓子、ベーグル、ジャンプフードセレクションのグランプリ商品、季節のお花が並び、多くの方にお楽しみいただきました。浄土平レストハウスでの「飯館村フェア」や毎年出店している仙台での「BAR仙台2026」など、多方面に村産品の魅力を発信した月間となりました。

私の個人インスタグラム等のSNSでも、ご紹介しておりますので、お手隙の際に、どうぞご覧いただければ幸いです。

年間を通して、飯館村の魅力を発信できるのも、村の生産者さんの汗とご努力の積み重ねあつてこそです。いつもありがとうございます。

また、長年民生委員・児童委員を務めてくださった皆様、多年に亘り人権擁護委員として活躍くださった皆様の表彰報告も心より嬉しく、これまでの地域に対する積年のご尽力にただただ感謝申し上げます。こうして村はいつの時も、村民の皆様の手で守られ、支えられてまいりました。

村民の方から「大変なことは今もあるけれども、自分達がなんとか暮らし続けていられるのは、ご先祖様が一生懸命に家族や土地を愛し、守り継いできてくださったからに他ならないよね」というお話を聞きする機会がありました。

田んぼや畑を愛おしそうな眼差しで見つめながらのお言葉に、あらためて「おかげさま」「ありがたし」の想いを強くいたしました。

この大切な「飯館村」という私たちの「ふるさと」を次世代へと繋ぎたい。繋いでいくため、皆様とともにこの村にあふれる誇りと魅力をさらに深めてまいりたいと存じます。

暮らしの耳より情報 ④「野焼き」が原因の火災が発生しています！



Check!

原則禁止の内容と例外について

「野焼き」とは、適法な焼却施設を使用せず、野外で廃棄物や草木を焼却する行為です。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）」により、家庭ごみや事業系ごみ、剪定枝などを屋外で燃やす「野焼き」は原則禁止されています。農業や伝統行事などの一部は例外として認められていますが、火災や環境汚染のおそれがあるため、厳格なルールが設けられています。違反した場合には重い罰則が科される可能性もあります。仕事や行事で「野焼き」を行う場合は、必ず事前に届け出をしてください。

家庭でのごみの焼却は「野焼き」と呼ばれ、一部の例外を除き法律で禁止されています。

全国的にも「野焼き」が原因で山林や住宅に燃え移る火災が発生しています。

一般家庭から発生するごみは焼却せずに、定められた収集日に正しく出すようお願いします。

なお、農林業等を営むうえでやむを得ない範囲でのみ例外として行う野焼きの場合は、事前に産業振興課まで届け出をお願いします。

必ず事前に届け出を! 実施する前に、実施場所や日時などを連絡してください。

- 問 産業振興課農政係 ☎0244-42-1621
- 問 南相馬消防署飯館分署 ☎0244-42-0119

皆さんが広報委員！
いいたて PHOTO リレー
月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。

テーマは
「農業を通して見える景色」
～水田と道の駅～
撮影者 大井利裕さん(草野)



「田植えの準備で水田に水を張っていた時に見た風景です。水田に映る道の駅までい館の光や、夕暮れの空が水面に反射する様子がきれいだったので撮りました」。そう話すのは、この写真の撮影者、飯館村振興公社・農業部門に勤務する大井さんです。「たまたま夜までかかる作業があり、この風景に出会うことができました。農業をやっている人でなければ、なかなか見る機会がない風景だと思います。天候やシーズンはもちろん風の影響もありますから、狙って撮れる写真ではありません。だからこそ、この写真を通して皆さんにも、『農業を通して見える景色』を知ってほしいと思いました」。とても貴重な写真ですし、幻想的で美しい、飯館村ならではの風景ですね。

8月号 7/17締切
例えば…「七夕」「海」「夏休み」「夏野菜」をテーマに。

9月号 8/14締切
例えば…「お盆」「花火」「ひまわり」「流しそうめん」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考します。
- 報償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613

次号のお知らせ

より安全で適切な医療の提供を目指し、国は、薬剤の処方と調剤を分ける「医薬分業」を推進しています。これに従い「いいたてクリニック」の院内処方も昨年12月で終了しました。次号「広報いいたて」8月号では、クリニックを受診した際の院外処方の流れについて、「ほけんとふくし」のページで改めてお知らせします。また、院内処方終了後から現在までの関係機関の取り組みについても、合わせてお伝えします。

次号の特集は
防災を見直そう!
を予定しています。

ひとのうごき

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 十成 さん	91	大倉
西川 ツネ子 さん	93	宮内
高野 智偉子 さん	93	大倉
荒 由香 さん	54	大倉
大越 セツヨ さん	78	深谷

ひとのうごき 令和8年6月1日現在

人口	今月(前月比)	5月1日～31日までの人口動態
●男	2,187人(-7)	転入 2人
●女	2,103人(-9)	転出 10人
計	4,281人(-16)	出生 0人
世帯数	1,776戸(-5)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

(5月21日から6月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

ご冥福をお祈り申し上げます



飯館村へようこそ！ ツール・ド・ふくしまグルメライド40

エイド2 飯館村地域防災センター

凍み餅入り豚汁 + ナツハゼドリンク

「あぶくまロマンチック街道構想推進協議会」がエイドに参加！



このドリンクいいね！

はじめてのおいしさ！



エイド1 いいたて村の道の駅までい館

飯館産黒毛和牛角煮丼

「肉のゆうとびあ」の牛角煮に新鮮アスパラを添えて…



お肉が柔らかくておいしー！



6月13日に浜通り地域で実施されたサイクルロードレース「ツール・ド・ふくしま」。そのうち「グルメライド40」は、「村民の森あいの沢」や道の駅などに立ち寄りながら、村内一円を巡るコースで、約50人のサイクリストが来村。エイドステーションであぶくま地域ならではのグルメを味わいながら、初夏の飯館村を颯爽と駆け抜けました。

台湾夜市 株式会社サクラ・シスターズが協力！ ダンスで応援！
福島もも娘のMAKOさんとコンフルエンシアジュニア(川俣町)が歓迎



「美しく 清らかな村 いいたて」ロゴマーク ご応募ありがとうございました

飯館村第7次総合振興計画が将来像に掲げる「美しく清らかな村 いいたて」のロゴマークを公募したところ、全国から208人・314作品のご応募をいただきました。厳正なる審査を経て決定したロゴマークは、立村70周年記念イベントに合わせて秋に公表します。

ロゴマークの活用方法についても合わせてお知らせしていきます。皆と一緒に、7次総を盛り上げていきましょう！ロゴマークの発表をどうぞお楽しみに！



問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

〈編集後記〉

長泥地区の自然観察会取材した際、モリアオガエルをはじめとしたさまざまな生き物に出会いました。村に住んでいれば普段から目にする生き物たちも、貴重な自然の恵みであることに気づかされました。子どもたちが目をキラキラさせながら生き物たちと触れ合う姿に、なんだか懐かしい気持ちになりました。皆さんも、飯館村を訪れた際は、カエルや虫の音を耳を傾けてみてはいかがでしょうか。(巻野)

色とりどりの花があふれる春の飯館にも心が踊りますが、やわらかな緑に包まれる初夏の飯館も清々しさが格別です。人の手がかけられた里山の自然と調和する風景はまるでデザインが施されているかのような美しさ。暮らす人の気持ちまで伝わるように心に沁みて…(星)